

2021年11月11日

ステークホルダーと共に進める経営体制へ ～取締役会諮問機関の委員長に中神氏・ピーダーセン氏が就任～

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩）は、本日の取締役会において、取締役会の新たな諮問機関として「戦略検討委員会」を設置し、社外取締役の中神康議氏を委員長とするとともに、同じく取締役会の諮問機関である「サステナビリティ委員会」の委員長をピーターD. ピーダーセン氏とすることを決議いたしました。ステークホルダーの代表でもある社外取締役が積極的に経営に関与する体制を整備し、当社ならではの「ステークホルダー経営」をめざしてまいります。

■ 委員会の新設・改編について

丸井グループでは、経営の目標である企業価値を「すべてのステークホルダーの利益としあわせの調和」を創出することと定義しています。2021年6月からは、丸井グループがめざす「ステークホルダー経営」に向けた第一歩として、長期エンゲージメント投資家である中神康議氏と、環境・サステナビリティ分野の専門家であるピーターD. ピーダーセン氏を経営の中核である取締役会に迎え、いわゆる「ボード3.0」の要素を取り入れたガバナンス体制がスタートいたしました。

今回、社外取締役がステークホルダーの代表として、さらに経営に関与する体制を整備します。まず、株主・投資家の視点を直接取り入れながら、中長期の事業戦略を検討することを目的として、新たに「戦略検討委員会」を設置し、中神氏が委員長に就任します。この委員会には外部有識者も参画して、多様な視点から事業戦略を深く議論し、その検討結果を取締役会へ提言していく予定です。

また、2019年に設置した「サステナビリティ委員会」は、ピーダーセン氏が委員長に就任するとともに、委員会メンバーに外部有識者や将来世代を加えることで、未来に向けた対話を深め、取締役会へ積極的な提言をしてまいります。

<戦略検討委員会 委員長>

中神 康議 (なかがみ やすのり)

このたび新設された「戦略検討委員会」の委員長に就任した中神でございます。丸井グループは世界でもまれな「小売とフィンテック、そして未来投資事業の三位一体モデル」の構築をめざしています。これら一つひとつの事業が強靱な障壁を備え、さらには3つの事業が相互にその障壁を強化しあうことで、長期持続的な超過利潤を生む戦略とはいかにあるべきか？徹底した事実・データ分析に基づきつつも、丸井グループらしい独創的な解を模索していきたいと思っております。



<経歴>

みさき投資株式会社代表取締役社長。大学卒業直後から経営コンサルティング業界に入る。アンダーセン・コンサルティング(現アクセンチュア)、コーポレートディレクション(CDI)のパートナーとして、約20年にわたり幅広い業種で経営コンサルティングに取り組む。数多くのクライアント企業価値向上の実体験を基に、『働く株主®』投資モデルの有効性を確信。2005年に投資助言会社を設立し、上場企業への長期エンゲージメント投資活動を開始。数々のエンゲージメント成功事例を生む。2013年にみさき投資を設立し引き続きエンゲージメント投資に取り組んでいる。カリフォルニア大学バークレー校経営学修士(MBA)・日本取締役協会独立取締役委員会委員長・独立行政法人経済産業研究所コンサルティングフェロー。2021年6月より当社社外取締役。

<サステナビリティ委員会 委員長>

ピーターD. ピーダーセン

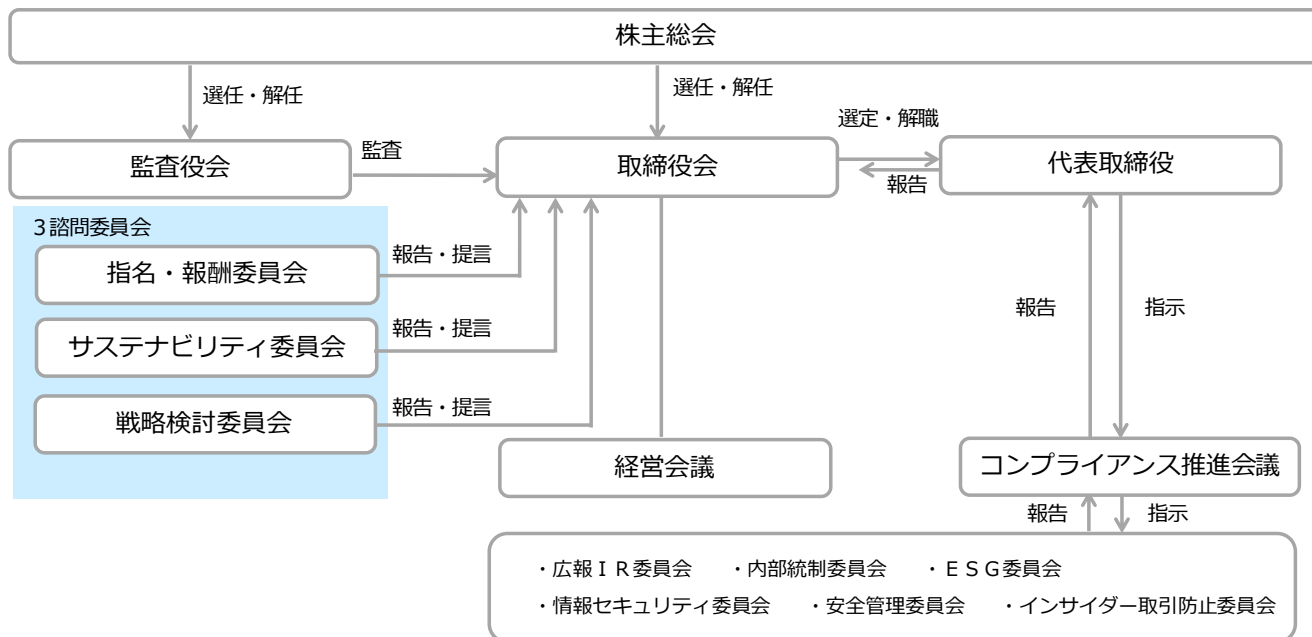
このたび丸井グループのサステナビリティ委員会の委員長を引き受けさせていただきました。当社グループは、小売およびフィンテック事業などを通じて、生活者の消費と暮らしに深くかかわっている企業グループです。そのため、当社グループにとってのサステナビリティ経営の最重要課題の一つは、この消費の代替と暮らしの革新にあると考えています。この2大テーマに真正面から取り組む覚悟で委員長を務めさせていただこうと思っております。



<経歴>

特定非営利活動法人ネリス代表理事、大学院大学至善館専任教授。CSR・環境コンサルティングを手がける株式会社イースクエアを2000年に共同創業し、2011年まで同社の代表取締役社長を務める。その間、日本を代表する大手企業の事業・環境・CSR戦略、コミュニケーション・マーケティング調査、人材育成などに携わり、2002年には、LOHASなどの新たなコンセプトを米国より日本に紹介し、日本初のLOHASマーケティング調査を複数年実施。現在は、世界の若手リーダー育成を活動テーマとする特定非営利活動法人ネリスの代表理事として、世界と日本企業における「次世代リーダー」の育成に尽力している。2021年6月より当社社外取締役。

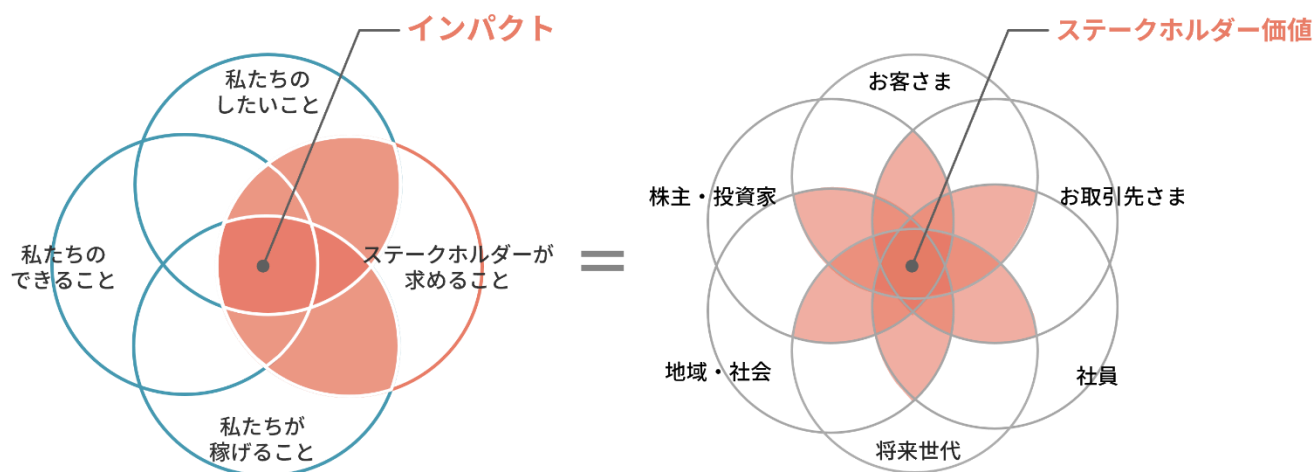
<諮問委員会 体制図>



■ 丸井グループが考える企業価値とは

丸井グループでは、経営の目標である企業価値を「すべてのステークホルダーの利益としあわせの調和」を創出することと定義しています。

今年度スタートした中期経営計画では、「事業戦略×資本政策×インパクト」を骨子に掲げております。新しく加わった「インパクト」は「ステークホルダーが私たちに求めること」の中で、「私たちが応えられること、応えたいこと」であり、私たちの企業価値の定義とぴったりと重なり、インパクトの生み出す価値＝ステークホルダー価値＝企業価値となります。これら3つを一致させることをめざし、ステークホルダー資本主義を企業経営において実践してまいります。



インパクトの生み出す価値 = ステークホルダー価値 = 企業価値

* 「IKIGAI 生き甲斐」のIKIGAI図を参考に当社作成
<https://www.penguin.co.uk/books/1112754/ikigai/9781786330895.html>

■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社丸井グループ
本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2
代 表 電 話 : 03(3384)0101 FAX 03(5343)6615
U R L : <https://www.0101maruigroup.co.jp>
代表取締役社長 : 青井 浩
おもな関連会社 : (株)エポスカード、(株)丸井、(株)エムアンドシーシステム ほか